

平成 22 年 1 月 14 日

1 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

○ 新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに平成 22 年の新春をお迎えのことと存じます。本日、私からは、年頭にあたっての所感を 4 点申し上げたいと思います。

○ まずは、「7 号機の営業運転開始」についてです。

7 号機につきましては、昨年 12 月 28 日に定期検査の最終項目にあたる国の総合負荷性能検査を終了し、中越沖地震の影響により停止して以来、2 年 5 ヶ月ぶりに営業運転を再開いたしました。

地震発生からこれまでの間、地域の皆さまをはじめ、多くの方々より貴重なご意見、ご支援、ご指導をいただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

7 号機につきましては、今後も安全を第一に運転を行うとともに、その他の号機につきましても、設備の健全性確認、復旧作業、耐震強化工事などについて作業安全の確保を徹底したうえで、着実に進めてまいります。また、新たに得られた知見や教訓については、その都度一つひとつ改善に繋げていくなど、安全で災害に強い発電所づくりに向け、引き続き全力で努力してまいります。なお、これまで同様、これらの取り組みについては、地域や社会の皆さまに丁寧にご説明してまいります。

○ 2 点目は「6 号機の運転状況」についてです。

6 号機につきましては、昨年 12 月 23 日に各制御棒に 2 系統設置されている制御棒位置表示機能のうち、1 本の制御棒の 1 系統に不具合が発生しました。残りの 1 系統で当該制御棒の位置は正しく表示されており、安全上の問題はないものの、万全の状態での総合負荷性能検査を受けるため、12 月 24 日より予定していた同検査の受検を延期し、原因調査を行うため原子炉を停止しました。

調査の結果、本事象は、格納容器内にある制御棒位置検出器の内部の回路において、偶発的に短絡故障が生じたことが原因と推定いたしました。

このため、当該検出器を予備品に交換するとともに、他の制御棒を含め、制御棒の動作および位置表示機能が健全であることを確認いたしました。その後、1月6日より原子炉を再起動、1月8日に発電を開始し、現在は定格熱出力一定運転中です。

6号機につきましては、今後、総合負荷性能検査に向け、安全・安定運転に努めてまいります。

○ 3点目は、「1号機と5号機の点検・復旧作業」についてです。

1号機と5号機につきましては、現在、系統レベルの健全性確認を実施しており、これまでに、1号機は30項目中18項目、5号機は28項目中19項目の試験について評価が完了いたしました。

耐震強化工事につきましても、1号機は昨年12月10日に全ての工事が完了しており、5号機の工事も本日までに完了する見込みです。さらに、5号機については、今後、原子炉の安全機能として重要な「止める」機能を確認する系統機能試験を実施するため、明日から1月24日までの予定で燃料装荷作業を実施いたします。

また、当発電所は、平成19年7月18日に柏崎市より危険物施設（55施設）に対する使用停止命令を受け、その後、これらの危険物施設の点検を実施してまいりましたが、1月12日に柏崎市より1号機の9施設と5号機の8施設について、使用停止命令を解除する旨の文書を受領いたしました。今後も、安全意識をより一層高めるとともに、引き続き、残る2・3・4号機の危険物施設の点検を実施してまいります。

○ 4点目は、「免震重要棟の運用開始」についてです。

当発電所では、中越沖地震における反省と教訓を踏まえ、災害時の対応力強化を目指した様々な整備・改善活動を実施しております。その一環として、免震重要棟の建設工事を進めてまいりましたが、昨年12月25日に工事が完了し、明日より運用を開始することといたしました。

免震重要棟は、建物と地盤の間にゴムなどの柔らかい部材を置くことにより地震のエネルギーを吸収する構造形式としており、中越沖地震を超える震度7クラスの

地震が発生した場合においても、緊急時の支援活動に支障をきたすことがないように、緊急時対策室をはじめとする重要設備の機能を集合させています。

当発電所は、災害に強い世界に誇れる発電所づくりに向け、今後も、こうした整備・改善活動に継続して取り組んでまいります。

- 最後になりますが、今年1年、これまでにご指導・ご支援いただいた多くの皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、作業安全の確保を第一として、やるべきことを一つひとつ丁寧に確認しながら進めてまいりたいと思います。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成22年1月)

平成22年1月14日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14~H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4~H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~H21.8.31 H21.12.26~H22.1.8 現在調整運転中	第7回 H17.12.10~H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止												【6号機】 ・1月8日、制御棒位置表示機能の不具合調査完了に伴う発電開始。(お知らせ済み)
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第8回 H19.11.15~H21.12.28 定検停止期間:H19.11.15~H21.5.20 (553日) H21.9.25~H21.11.10 (47日) (原子炉起動H21.11.8)	第8回定検による停止												
			不具合調査のため計画停止												
			燃料取り替えのため計画停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (12月末現在)

12月	30.7%
21年度累計	17.3%
運転開始後累計	66.4%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (12月末現在)

12月	187,863
21年度累計	936,394
運転開始後累計	81,128,230

④ ドラム缶発生量(本) (H21年度第2四半期)

当期発生本数	1,192
貯蔵庫累積貯蔵本数	26,504
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H21年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,380
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (1月4日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	856	2,899	43%
	刈羽村	86	319	5%
	その他	95	1,324	16%
	小計	1,037	4,542	64%
県外		109	3,005	36%
合計		1,146	7,547	-
		8,693		100%
協力企業社数(社)		916		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (12月末現在)

	12月	年度累計
地元	679	12,382
県内	407	11,750
県外	1,710	28,717
国外	92	420
合計	2,888	53,269

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
1月21日	骨盤エクササイズをやりましょう(柏崎エネルギーホール)
1月21・22日	第138回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
2月4日	次回定例所長会見予定
2月13日	いんのこまつり(き・な・せ)
2月19・20日	料理教室(東北電力(株)柏崎営業所 クックプラザ)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成22年1月14日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	1月13日	6・7号機	作業員の体内への微量な放射性物質の取り込みについて	<p>（事象の発生状況） 1月12日12時15分頃、5・6・7号機の水質分析作業を行っていた協力企業作業員が、管理区域から退域しようとした際に、放射性物質の身体への付着が確認されたため、放射性物質の除去を行いホールボディカウンターによる測定を実施したところ、当該作業員の体内に微量な放射性物質が取り込まれた可能性があることがわかりました。このため、本日、当該作業員について再測定を実施したところ、判定基準を超える測定結果が得られたことから、午前9時30分頃、体内への微量な放射性物質の取り込みがあるものと判断しました。</p> <p>なお、今回の事象により今後50年間に受ける放射線量は約0.003ミリシーベルトと推定しています。これは、胸部レントゲン撮影1回分（約0.05ミリシーベルト）よりも低く、身体に影響を与えるものではありません。</p> <p>（安全性、外部への影響） 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 調査の結果、当該作業員が分析作業を終えて放射性物質の付着したゴム手袋を脱ぐ際に、誤って手に放射性物質を付着させたことがわかりました。当該作業員は手に放射性物質が付着したという認識がなく、管理区域からの退域時に手が顔に触れたため、口または鼻を通して体内に微量な放射性物質が取り込まれたものと推定しました。</p> <p>対策としては、ゴム手袋着脱時の放射性物質付着防止に係る留意事項を再度、周知徹底します。また、今後、分析作業終了後には現場で、サーベイメータ等により両手への放射性物質の付着の有無を確認することとします。</p>